

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">国文学演習Ⅱ</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>研究科前国1回生 研究科後国1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">浅尾 広良</p>
<p>授業テーマ</p> <p>『源氏物語』研究—研究発表と論文講読—</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>『源氏物語』を取り上げ、前期は若菜上巻における問題点を論じながら、研究の基礎を解説する。この後、受講者各自にテーマを設定して発表を課す。後期は、『源氏物語』に関する論文講読を行い、研究を行う上での方法論に関して議論を深め、各自に研究発表を課す。</p>		
<p>評価方法</p> <p>前期の発表（40%）、後期の発表（40%）、出席・授業への取り組み（20%）として総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>授業時にプリントを用意する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>授業時に適宜紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション・授業のねらい、進め方 2 源氏物語の本文 古注釈①「古注釈の流れ」 3 源氏物語の古注釈②「物語における歴史とは何か」 4 源氏物語の古注釈③「准拠論の可能性と限界」 5 若菜上巻「朱雀院の出家①」 6 若菜上巻「朱雀院の出家②」 7 若菜上巻「女三宮の降嫁①」 8 若菜上巻「女三宮の降嫁②」 9 発表① 10 発表② 11 発表③ 12 発表④ 13 発表⑤ 14 発表⑥ 15 前期のまとめ 16 後期授業の進め方 論文講読の仕方・ 17 論文講読① 18 論文講読② 19 論文講読③ 20 論文講読④ 21 論文講読⑤ 22 論文講読⑥ 23 論文講読⑦ 24 論文講読⑧ 25 研究発表① 26 研究発表② 27 研究発表③ 28 研究発表④ 29 研究発表⑤ 30 全体のまとめ 		